

AIWFF2011 ニュースレター

9月7日

水曜日

あいち男女共同参画財団
企画協働課内
電話 (052)962-2520
http://www.aiwff.com

明日・明後日 チケット情報

売行き状況

○余裕有、△残少、×完売

▼9月8日(木)

- 「私の少女時代」
- 「テンバ 希望の少年」
- 「告白」

- 「悲しみのミルク」
- 「山川菊栄の思想と活動」
- 「2 lines 私、妊娠しました」

▼9月9日(金)

- 「ヘッドレッサー」
- 「HANAMI」
- 「大奥」

- 「放浪記」
- 「さようならUR」
- 「漁師と妻」

第16回映画祭「強く生きる」をテーマに 開幕!!

=日本初公開6本など23作品を上映= “Keep Strong”

いよいよ今日から11日(日)までの5日間、ウイルあいちをメインに「あいち国際女性映画祭2011」が開幕。数えて16回目となる今年には、「強く生きる “Keep Strong”」のテーマを中心に世界各地で活躍する女性監督の作品から日本初公開6作品、愛知初公開7作品など、全23本がラインナップ。海外8カ国から12作品、またドキュメンタリー5作品、そして日本映画名作6本と幅広い皆さんにご堪能いただける作品が揃っています。日独交流150周年の記念

の年でもある今年、映画祭初の取り組みとしてドイツを代表するドリス・デリエ監督の特集を企画。日本初公開の「ヘッドレッサー」、愛知初公開の「HANAMI」そして「漁師と妻」の三作品を9日に一挙上映します。

ウイルホールでのオープニングは、浜野佐知監督の愛知初公開作品「百合子、ダスヴィダーニヤ」。浜野監督とともに主演女優の菜葉菜さん、一十三十一さんのお二人を迎え、賑々しく開幕します。

映画上映後、監督と語らうゲストトークや、7、8、9日の三日間、来場監督を迎えたトークサロンなど、今年も盛りだくさんです。

東日本大震災発生6ヶ月に当たる映画祭最終日の11日日曜日には、震災で被災した宮城県気仙沼などでロケが行われた「春との旅」を上映。主演の仲代達矢さんが来場し、舞台あいさつ、そして映画上映後は、被災地への想いを語ります。

会期中、1階交流サロンでは、震災応援企画として東北各県の観光紹介、名産品の受注販売などもお楽しみいただけます。

映画祭。思い出の一コマをお届けします。



映画祭ゲスト合同記者会見速報

▼吉田喜重監督のメッセージ

映画祭開幕を前に、6日(火)午後2時から参加作品監督ら、ゲストを9名を迎え、ウイルあいち会議室で合同記者会見が開催されました。インタビューに応えた監督はじめ、ゲストからは、作品にこめた熱い思いなどが伝わりました。その一端をお届けします。

3月の大震災は、残念な大事件ですが、危機意識は人間を強くし、表現力にプラスに働く。この危機に、男女の枠を越えた表現を考えて欲しいし、今後、震災をテーマとするドキュメンタリーなどの映画の誕生に期待したい。

▼「百合子、ダスヴィダーニヤ」

▼浜野佐知監督

現在、女性監督は増えてきているが、まだ女性監督が心から撮りたいものが撮れるということが難しい現状がある。百年前にも良妻賢母が良しとされた時代に、社会の中でがんじがらめにならず自分に率直に生きた女性がいるということ、今の女性にも知っていただきたい。女性の視点から見た「性」のあり方、男が女を愛するように女も女を愛するというのを多くの人に伝えたくこの映画の製作に当たった。誰を女優にするか悩んだが、適役の女優さんに演じてもらったのでぜひ、多くの人に見ていただきたい。

▼「樹氷のよめき」俳優岡田茉莉子さん



後列右から吉田喜重監督、フェン・ゼンジ監督、チャオ・ホイリー監督、浜野佐知監督、山上千恵子監督、早川由美子監督、前列右から菜葉菜さん、岡田茉莉子さん、一十三十一さん

本日午後4時40分から6時まで 於：3階 会議室5

浜野監督を迎えトークサロン開催

入場無料

—映画祭ならではの機会です。是非ご参加ください—

- ▼コーディネーター 日比野幸子 (あいち国際女性映画祭東京事務局代表)
- ▼定員40名 ※直接会場へお越しください。(定員になり次第締め切ります。)

今年、日本は未曾有の大震災を経験しました。戦時中を彷彿とさせる映像に息をのみ、自らの少女時代を思い出しました。私は幼い頃に父を亡くし、第二次世界大戦も母と二人で懸命に乗り越えてまいりました。辛い状況に置かれたこともあり、今まで60年もの長い間、女優として生きてこられたことを本当に嬉しく思います。日本が大変な状況にある中、今年も映画祭に参加することが出来た事に幸せを感じております。

▼「山川菊栄の思想と活動-姉妹よ、まずかく疑うことを習え-」山上千恵子監督

約一年三ヶ月あまり製作に費やしたドキュメンタリー作品。平塚らいてうや与謝野晶子らと同じ時代に生きた山川菊栄は、男女差別など様々な問題と闘っていた。

菊栄らが生きた時代より現

代がより良くなっているならば、それは彼女たちのおかげである。彼女たちの活動が今、私たちにどのような形で影響しているのか、またそれを私たちがどのように伝えていくのかが大切である。私たちが一人ひとりが主体となって社会を変えていかなければならないため、この作品には社会に影響を与えるようなものになるようにという思いが込められている。

▼「さようならUR」早川由美子監督

あいち国際女性映画祭への参加は2回目となり、また戻ってくることで嬉しそうです。今回、URという住宅公団の問題を扱ったドキュメンタリー映画を制作したのは、居候している自身の境遇に照らし、団地を追い求めようとする高齢の入居者たちに親近感を感じたからです。住宅問題は各世代を通しての問題であ

り、このドキュメンタリー映画を見て、住宅問題、政治や暮らしのあり方などを考えていただければ幸いです。

▼「私の少女時代」チャオ・ホイリー監督

この映画のモデルの車椅子の少女は、セリフにあるように「心の中に星があれば、周りの人を照らすことができる」、自分の愛で周りの人々に愛を注ぐという生き方をしてきました。この映画を撮るために私たちは全財産をなげうちました。そうまでした理由は、現在の中国は経済の発展が目覚しく、その中で精神的なものが置き去りにされていると思うからです。国家というのは精神的なものが基盤となっていると思います。この映画を通して若い人たちに自分の愛を伝え、利己ではなく利他の心を持ち、両親や国への愛を伝えてほしいと思っています。

主催：(一)日本政策投資公団、(一)中小企業振興支援機構中継支援部、(一)あいち男女共同参画財団

貴女に贈る起業・経営支援セミナー

無料

会場：ウイルあいち(名古屋東区) 各開演日40名(1回だけの参加でも全開参加でもOK) 事前予約で定員になり次第締め切りをいたします。 座席を予定している女性、女性経営者

開催日	テーマ	時間
9月14日(水)	貴女らしさを出した経営術!	13:00~15:00
9月28日(水)	女性起業家の体験談	13:30~16:00
10月12日(水)	「借金癖パーカー」、「ひこにゃん」の仕掛人が語るお金のかけずけにPR!	14:00~16:30

お申込み・お問合せ先：こくさん創業支援センター名古屋 TEL:052-561-6305

情報ライブラリーセミナー参加者募集中

無料

不安を解消! 親の介護、自分の老後

~事前に知っておきたい、仕事と介護の両立の「戦略」~

介護もビジネス感覚

平成23年 10月16日(日)13:30~15:30

講師 太田差恵子さん(介護・暮らしジャーナリスト)

※詳しくは、ちらしやウイルあいちホームページをご覧ください
 <問い合わせ先> 愛知国際女性総合センター指定管理者コンプレ・愛知グループ
 ウィルあいち情報ライブラリー 電話052-962-2510

リフレッシュ エクササイズ教室

~いい汗かいて、毎日を健やかに~

- ★ソフトエアロビクス教室 料金2,800円/4回分
- ★こども教室 <4歳~小学2年生> 料金2,500円/4回分
- ★中高年教室 <女性> 料金2,800円/4回分

場所 ウィルあいちフィットネススタジオ

<問い合わせ先>
 (財)あいち男女共同参画財団総務情報課(フィットネス担当)
 電話052-962-2505